

令和元年 10月～12月期
地域産業経営動向調査
〔報告書〕

堺 市

〔 調査実施機関

堺商工会議所 〕

調査の概要

1. 調査目的 堺市管内事業所の経営動向の実態を四半期毎（3月期・6月期・9月期・12月期）に調査し、業況判断指数D I 値等により景気動向を把握する。
2. 調査対象 堺商工会議所会員事業所800社（建設業200社・製造業200社・卸売業100社・小売業100社・サービス業200社）
3. 調査期間 令和元年12月13日（金）～12月27日（金）

4. 回収率	調査対象数	回収数	回収率
建設業	200社	103社	51.5%
製造業	200社	101社	50.5%
卸売業	100社	50社	50.0%
小売業	100社	50社	50.0%
サービス業	200社	104社	52.0%
全産業	800社	408社	51.0%

【主要な表現について】

- 業況判断 … 調査対象企業が自らの業績に下した判断。
- D I 値 … 「好転」したとする企業割合から「悪化」したとする企業割合を差し引いた値。

【各項目別のD I 値の意味について】

- 業況判断 … D I 値がプラスなら「好転」を、マイナスなら「悪化」を表す。
- 売上高 … D I 値がプラスなら「増加」を、マイナスなら「減少」を表す。
- 採算 … D I 値がプラスなら「好転」を、マイナスなら「悪化」を表す。
⇒今期状況 … D I 値がプラスなら「黒字基調」を、マイナスなら「赤字基調」を表す。
- 資金繰り … D I 値がプラスなら「容易」を、マイナスなら「困難」を表す。
- 雇用人員 … D I 値がプラスなら「増加」を、マイナスなら「減少」を表す。
⇒今期状況 … D I 値がプラスなら「不足」を、マイナスなら「過剰」を表す。

調査結果の概観

今期(10月～12月期)の前年同期比を見ると、雇用人員は横ばい、資金繰りは2期連続でやや悪化、業況判断、売上高及び採算は2期連続で悪化となった。

来期(1月～3月期)の予測については、業況判断は改善、売上高、雇用人員はやや悪化、資金繰りは悪化、採算は3期連続で悪化となっており、引き続き市内中小企業の動向については、注視していく必要がある。

1. 業況判断の動向

・前年同期比の指標は2期連続で悪化。
($\Delta 17.1 \Rightarrow \Delta 28.9$)

・来期見通しの指標は改善。
($\Delta 28.9 \Rightarrow \Delta 21.8$)

・業種別に前年同期比の指標を見ると、サービス業は悪化、製造業、卸売業及び小売業は2期連続で悪化、建設業は3期連続で悪化。

・前年同期比の指標は2期連続で悪化。



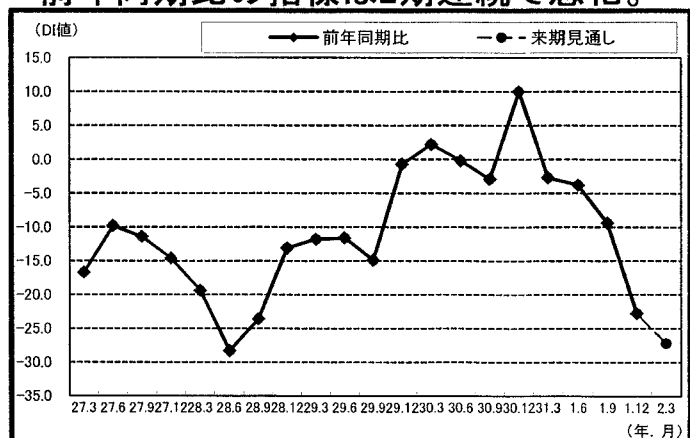
2. 売上高の動向

・前年同期比の指標は2期連続で悪化。
($\Delta 9.4 \Rightarrow \Delta 22.8$)

・来期見通しの指標はやや悪化と予測。
($\Delta 22.8 \Rightarrow \Delta 25.2$)

・業種別に前年同期比の指標を見ると、小売業はやや改善、建設業、卸売業及びサービス業は悪化、製造業は2期連続で悪化。

・前年同期比の指標は2期連続で悪化。



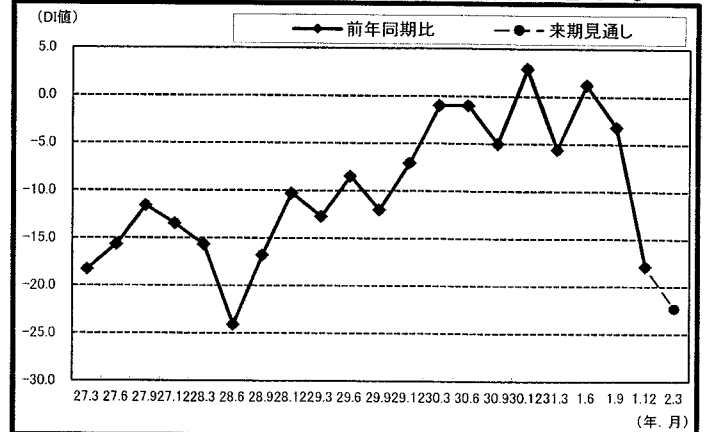
3. 採算の動向

・前年同期比の指標は2期連続で悪化。
($\Delta 3.2 \Rightarrow \Delta 17.9$)

・来期見通しの指標は3期連続で悪化と予測。
($\Delta 17.9 \Rightarrow \Delta 22.5$)

・業種別に前年同期比の指標を見ると、卸売業、サービス業は悪化、建設業、製造業及び小売業は2期連続で悪化。

・前年同期比の指標は2期連続で悪化。



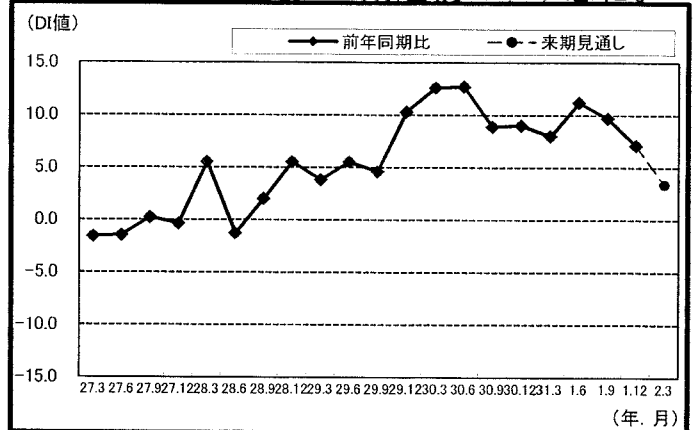
4. 資金繰りの動向

・前年同期比の指標は2期連続でやや悪化。(9.7 \Rightarrow 7.1)

・来期見通しの指標は悪化と予測。(7.1 \Rightarrow 3.4)

・業種別に前年同期比の指標を見ると、製造業、卸売業は横ばい、建設業はやや悪化、小売業、サービス業は悪化。

・前年同期比の指標は2期連続でやや悪化。



5. 雇用人員の動向

・前年同期比の指標は横ばい。(1.0 \Rightarrow 0.5)

・来期見通しの指標はやや悪化と予測。(0.5 \Rightarrow $\Delta 2.2$)

・業種別に前年同期比の指標を見ると、建設業、卸売業は改善、製造業はやや改善、小売業はやや悪化、サービス業は悪化。

・前年同期比の指標は横ばい。

